

ガリレオ教室 ～月のひみつ～

毎月第2日曜日には、天文ボランティア主催の「ガリレオ教室」を開いています。今回は、9月27日の中秋の名月と翌日28日のスーパームーンにちなんで、「月のひみつ」について解説してもらいました。月は、形を変えて私たちを楽しませてくれますが、月の満ち欠けは、



どのようなしくみで起こるのでしょうか。また、「スーパームーン」はどうして起こるのかなど、月の不思議について実験を交えながらの教室でした。

次回10月11日には、10月25日の十三夜の栗名月にちなんで、「月のひみつ」についてお話しします。



コズミックスクール ～天体望遠鏡をつくらう！～

「中秋の名月」を自分で作った望遠鏡で観察するために、天体望遠鏡の工作教室を行いました。

レンズの実験を行って天体望遠鏡のしくみについて学んだあと、望遠鏡をつくりました。レンズの表と裏を間違えていないか、望遠鏡のバランスは合っているかなど、親子で確かめながら組み立てました。



組み立てた後は市民公園で望遠鏡のピントの合わせ方などを勉強しました。天体望遠鏡は、一台あると天文現象を間近で楽しめてとても便利です。次回10月25日も天体望遠鏡の工作教室を行います。皆さんも十三夜の月を自分でつくった望遠鏡で見てください。

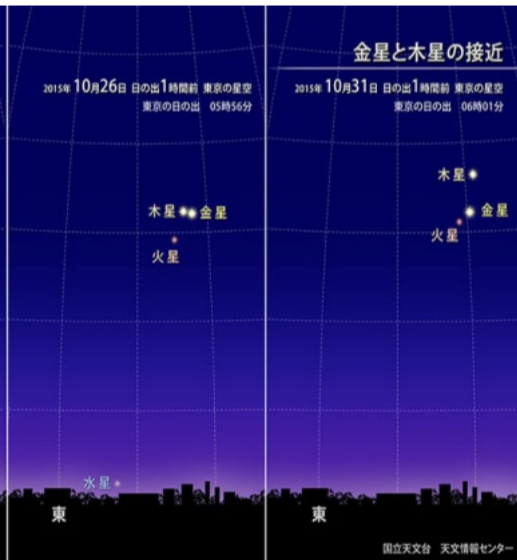


10月の天文現象は？

26日 金星が西方最大離角

金星は、夜明け前の東の空で“明けの明星”として素晴らしい輝きを見せてくれています。その金星が、10月26日に西方最大離角となります。金星は太陽の周りを反時計回りに回っていますが、地球から見て太陽の西側で、太陽と最も離れた時を「西方最大離角」といいます。西方最大離角の頃の金星は、望遠鏡で見ると半月状に欠けているのがわかります。

星、木星が大接近します。特に金星と木星の接近はとても目をひき素晴らしい光景となるので、早起きして観察してみたい方が多いでしょう。



26日 金星、火星、木星の接近

日の出前の東の空に見える金星、火星、木星の位置の変化に注目してみましょう。26日前後には金星、火

二つの流星群

りゅう座流星群

毎年10月上旬に活発になる流星群で、以前はジャコビニ流星群と呼ばれていました。定期的に大出現をすることがありますが、現在は1時間に数個の流星が見られる程です。10月9日午後3時に極大となる予想ですので、高度が高い9日の夜が観測のチャンスとなります。



オリオン座流星群

放射点がオリオン座の中にある流星群で、母彗星は有名なハレー彗星です。10月22日午前8時頃に極大となる予想です。極大が朝になってしまいますが、22日深夜の月が沈んだ後は観測には良い条件となります。1時間に30個程度の流星が観測できるかもしれません。



日程変更のお知らせ

次のイベントの開催日が変更になりました。

- 《字幕付き投映》
「黒い太陽のひみつ」
平成28年 平成28年
2月20日(土) → 2月13日(土)
- 《字幕付き投映》
「おじゃる丸」
平成28年 平成28年
2月21日(日) → 2月14日(日)
- 《宇宙塾》
「4年ぶりの日食」
平成28年 平成28年
3月 5日(土) → 3月 6日(日)

お間違えのないようにご注意ください。

★★観望会★★

《博物館主催きらら号観望会》

日時：10月24日(土)
18時から19時30分まで
場所：市民公園
内容：十三夜に合わせてお月見をします。
*当日の自由参加です
*天候不順の場合は中止します



《天文ボランティア主催観望会》

日時：10月25日(日)
17時30分から
19時30分まで
場所：市民公園
内容：十三夜のお月見をします
*当日の自由参加です
*天候不順の場合は中止
*きらら号は出動しません



編集後記

日が暮れるのもずいぶん早くなり、秋本番といった様子です。夜空はというと、西の空にはまだ夏の星座が残っていて、東の空の秋の星座と、二つの季節の星たちを楽しむことができます。涼しい秋の空気を感じながら、星空を眺めてみるのはいかがでしょうか。

